



「漸進的無償化」科研 第2回日韓シンポジウム (案)

(大学評価学会「第5回日韓シンポジウム」を兼ねる)

日 時：2017年2月11日 (土) 午後1～5時

場 所：ホテルKKR「フォーレスト本郷」会議室
(〒113-0033 東京都文京区本郷6-16-4)

アクセス：南北線/東大前駅より徒歩5分

<http://www.forest-hongo.com/access/index.html>

都市／大学のガバナンスと若者支援 (首都ソウル vs. 東京)

一公立大学(ソウル市立大学)の学費半額化をめぐる一

韓国の首都・ソウル特別市では、2011年の市長補選で当選したパク・ウォンスン市長の下、「共につくり、共に共有することにより新しい変化が始まる」を合言葉に市政が展開されている。若者支援にも力を入れており、ソウル市立大学では2012年度より登録金(学費)が半額化されている。若者が夢と希望をもって学び・働き・暮らせる社会とは・・・/登録金半額化をめぐる都市と大学のガバナンスを手掛かりに、首都であり姉妹都市でもあるソウルと東京の比較検討を進めたい。

司会：渡部 昭男 (神戸大学/「漸進的無償化」科研代表)

通訳：桔川 純子 (明治大学非常勤)、ヤン・スギョン (一橋大学院生)

○**第一報告**：13:10～13:50

Park Keryong (朴 巨用/パク・コヨン) 氏

祥明大学校教授/(韓国)大学教育研究所(HEI)理事長

「仮：登録金半額化と若者支援をめぐるガバナンス(その1)」

@ソウル特別市(市長—議会—市民)

○**第二報告**：13:55～14:35

Jung Byoung-ho (鄭 炳浩/チョン・ビョンホ) 氏

ソウル市立大学教授/ロースクール研究科長

「仮：登録金半額化と若者支援をめぐるガバナンス(その2)」

@ソウル市立大学(大学運営委員会—総長—教員・職員—学生・院生)

○**指定討論**：14:40～15:20

進藤 兵 (しんどう ひょう) 氏

都留文科大学教授/東京自治問題研究所理事長

「仮：学費半額化と若者支援をめぐる都市／大学のガバナンス：首都ソウル vs. 東京」

○**討 論**：15:40～17:00

*参加費不要/定員「35名」(電子メールにて事前予約をお願いします)

基盤研究(B)一般 H27-29 課題番号 15H03474

略称「漸進的無償化」科研

研究代表者 渡部昭男(神戸大学大学院教授)

メール・アドレス akiowtnb@port.kobe-u.ac.jp